



シンボルマーク・ロゴタイプ デザインマニュアル

このマニュアルは、八戸都市圏交流プラザ『EIGHT BASE』のシンボルマーク・ロゴタイプを正しく使用していただくために、その表現方法や注意事項などを示したものです。『EIGHT BASE』のブランド構築および価値向上に向けて、趣旨をご理解のうえ、ルールに沿った的確な運用をされますようご案内いたします。

Contents

シンボルマーク・ロゴタイプ・カラー	02
シンボルマーク・ロゴタイプの組み合わせ	03
アイソレーション(不可侵領域)	03
使用禁止事例	04

シンボルマーク・ロゴタイプ・カラー

シンボルマーク



ロゴタイプ

EIGHT BASE

デザインコンセプト

「八」と「8」を組み合わせ、「八戸」の文字をシンボル化しました。「八」は末広がり縁起が良く、蔵(店舗)のイメージも持ち合わせており、「8」には無限大の意味も込められています。筆文字のような力強さを持つ特徴的なシンボルと、シンプルで読みやすくクールな印象のロゴタイプでバランスをとり、伝統とモダンが融合した空間との調和を図りました。

カラー



C:0 M:0 Y:0 K:100
R:0 G:0 B:0 / #000000
DIC 582



C:0 M:90 Y:90 K:0
R:232 G:56 B:32 / #E83820
DIC 198

単色表現

〈ポジタイプ〉



〈ネガタイプ〉



※印刷の色数に制限がある場合などに使用してください。

※背景がマークやロゴタイプの色や明度に近い場合、補色関係の場合などは、〈ネガタイプ〉の白抜き表示をおすすめします。

※モノクロ以外の単色表現(特色印刷など)の場合でも、指定のパーセンテージを使用してください。

シンボルマーク・ロゴタイプの組み合わせ

文字の可読性に配慮して拡大・縮小を行ってください。

縦組み(1)



縦組み(2)



横組み

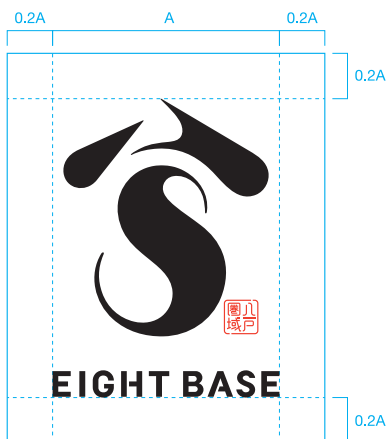


アイソレーション(不可侵領域)

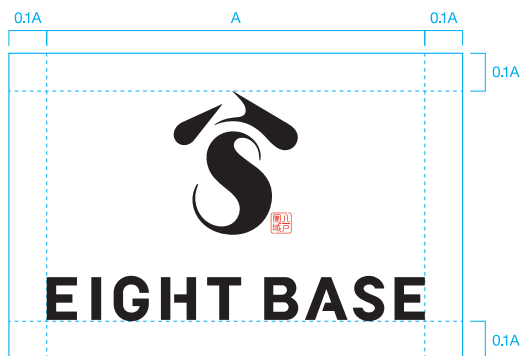
※アイソレーション(Isolation)とは、分離、独立などの意味。

シンボルマーク・ロゴタイプの周囲には、それを常に正しい形で表示するために、周囲に一定のスペース(余白)を確保し、他の要素が入らないように規定されたアイソレーションを設けています。この範囲内には、他の要素を入れないよう注意してください。

縦組み(1)



縦組み(2)



横組み

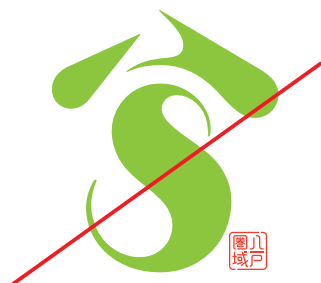


使用禁止事例

『EIGHT BASE』のイメージを損なわないよう、ここで紹介するような誤った方法は避け、適切な表現で使用してください。

※シンボルマーク・ロゴタイプをビジュアルの表現要素として使う場合や、デザイン上やむをえない条件の場合は一部例外とします。

※シンボルマーク・ロゴタイプの単体での使用は可能です。



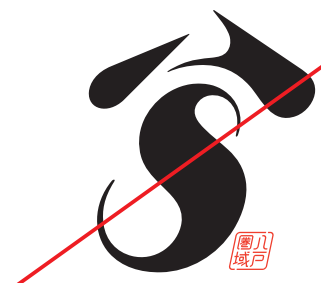
EIGHT BASE

色の変更



EIGHT BASE

ロゴタイプの書体変更



EIGHT BASE

変形(長体・平体・斜体・回転)



EIGHT BASE

装飾(縁どり・影)



EIGHT BASE
エイトベース

指定以外の要素を追加



**EIGHT
BASE**

間隔やバランスの変更



EIGHT BASE

視認性を低下させる背景の使用



EIGHT BASE

アイソレーション範囲内での
他要素の配置



EIGHT

分解して一部のみを使用